

# 8がっの小森の子ども園だよ

今年の暑さは、またものすごいことになってますね。梅雨明けが早く、いきなり30度越えて、その上、毎日毎日、上昇していく感じの7月とやりました。

うちの子ども達は、この園を開いて身体づくり。に特に意識して、日々自然の中で主に活動をしてきましたので、暑さ、寒さに向き合ってきた経験が、今年のこの猛暑は、恐ろしいくらいです。

今年度は、2才児と4才児さんです。早く、5才、気をつかいながらの暑さ対策を毎日や、こころのケアも、ニュース報道で、熱中症の搬送数や、死亡とかの話も毎日きき、ますます緊張感の中、保育をしています。

うちは、小森の木の木々にも囲まれ、園庭のまん中には、柿の木が大きく枝葉を広げてくれて、今年は、特に大きく木影をつくってくれて、土壁の昔造りの築140年程の風通じのよい家でもあり、他の所とは幾分か違い、ここは涼しいですね。と今までも、今年も言われてきました。が、このうちも、この気候には、おいつかなくなってきたと感じます。

うちは、子ども達の他に、お父さんの父もいますので、さすがに、この暑さでは、お父さんを使っていないから、古いクーラーで、父のいる部屋を調節しています。キンキンすぎ、外気との気温差があることで逆に体力消耗にもなるので、そこにも配慮しながら、温湿度計をまめにチェックしている毎日。



子ども達は、クーラーの部屋も他の部屋も、<sup><4.30 7.30></sup>わりなく、かえって、風が通ってあげれば、<sup>自然の気温の中にいますので、共に、自然の恵みです。</sup>自然の恵みの中にいますので、共に、自然の恵みです。子ども達は、ますます、暑化していくこのさまざまな環境の中で生きていかなくてはならなく、ほんとに大変だと思いつつ、<sup>人間、大人が自然に対して</sup>やってきたことが子ども達に、だから、この厳しい環境の中でも逆に、どう向き合い、どう乗り越え、前に進んでいか、生きる力をめいっぱい満喫していかれるか、<sup>この根子の力を育てる保育を心と、強く思いつつ、</sup>この暑さに対する事も、新たに大きな課題ですね。また、大きな震災が起これば、この暑さの中、電気が止まれば、たら、クーラーだけにたよっていると、アウトですね。この暑さに対応していかないと、真夏の体づくりもあれこれ工夫してや、こころ、それもひらめいて、楽しんで共にすごしていければと思いつつ、私の心配をよそに今のところ、子ども達は、昼寝もしたがるくらいのパワフルさで動き、遊んでいます。たのむくありがたいです。ちなみに、最高気温38度といわれた日、かなり熱気でもあり、午後からお迎えに来てもらったのですが、2人とも元気にさせてそのパワフルにおどろいた私でした。この夏の調子で、8月おのりき、楽しんでほしいです。

梅干しでき上がりました

7月25日、予定通り土用干しが  
できました。赤じそもみを入れこんで  
4週間程そのまま、土用を迎えてから  
壺の蓋をあけることになるので、カビが  
きてないか...など、子ども達と話しながら、  
ドキドキの瞬間でした。

子ども達も「ワ〜!!」とすでに歓声を  
あげてくれた。みごとな色の梅でした。  
お刺しめさくれたし、梅の果肉の状態も  
柔らか〜いという感じもでて、他の人達  
にもみしてもらったくらいでした。

ゆいりこととのが、梅干しを1個ずつ全部、  
大きなざるに並べていきました。(何百個?)  
太陽の光があたると、またより一層梅の色  
も鮮やかでした。

これは、「梅干し大嫌い! しらい!!」と始めは  
言っていたのですが、徐々にはやり出し、2人3人、  
最後まで壺の中の4キロ分の梅を干し、  
夕方は、お迎えの前に、今度は、ざるから壺へ  
もどし、終了することができました。

この梅干し作りにしても、梅、赤じそ、塩...と、  
自然の恵みを使い、余計なものは入れず、全て自然の恵みの  
自然のいし上がりです(白梅酢から赤梅酢への変化も)

こういうものをじかに経験しその場面に出会うと、ほんと私達は、  
自然の中で感じさせられ、楽しませられ、生かされているのだなと、  
私は思います(反面、恐怖も大きいですが...)。自然はすごいですわ...



子ども達のつぶやきシリーズ

〜せんせいおたのしみになりました〜  
ゆいり「なんでこうなるの?」(私の足の親指の堅いところをさわってから)  
私「せんせいが小さいところから、おたのしみ歩いて、おたのしみあそびで、強くなってきたよ」  
ゆいり「ゆいりもなりたい〜、なれるかな?」  
ゆいり「これはせん?」(私のうでや足のしみをみせ)  
私「おろとでいっ(おたのしみあそびでできたおひさまのひかり)かいて、おたのしみあそび〜」  
ゆいり「これもつけたい」(私の顔のほくろをさわってから)(ごめんつぶやきゆいり自身つけた  
ことあります)  
ゆいり「せんせいおたのしみになりますかな〜、  
なれるかな〜  
ゆいりも、おたのしみになるよね?」(少し心配して)



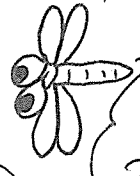
(こんな私にあこがれもらって、... ありがとうやら、こんなでいいの?! やら  
という笑いのひとときでした。

〜ゆいりこととのの会話〜

ゆいりが私に話している時、ことのも話してあげたので、私がことのをちら  
とみると、

ゆいり「もう、!! しらいで!!」

ことの「もう、っていつたら、うしになるよ!」



プールそうじ

ゆいりもそのもす、かり慣れた  
プールそうじ、渡り廊下さぐり  
スーズにやれるよにおたのしみ。  
でも、あしながバチが水を  
のみにあそびにや、てきて、

今年は、あしながバチは、  
いろいろさせられて、子ども達  
が鬼ごっこ、プールあそび  
や、おたのしみ集中でき  
ないことも多くあり、困  
り。これも自然環境の  
鬼ごっこの影響の一つです。

今年は、セミもとまどっている感じ  
がしています。いつもうちは、おたのしみ音に  
なるとセミの音がきこえないくらいにセミ  
の音なんですか、セミのミンミンと音は、  
ジーッと7ま、たかんじて、泣いている  
日もあり、その泣き方がかわいいうちの  
セミもいました。二匹二匹、あそび  
くまセミ...と、同時にあそび、いきなり  
つくつくぼくしかなき出した...と、セミ  
達もいろいろそうじているように感じます。

